

7月5日(日) 木堂清掃とイカダ設計会議

久しぶりの木堂清掃は天気にも恵まれ、前日までの雨のおかげで地面は柔らかく、雑草が抜きやすい状態でした。みんな頑張って掃除してくれたおかげでとてもきれいになりました。

その後、吉備公民館に移動して耕心村の水遊びで使ういかだ作りの作戦会議。どんな形にするか、どのくらいのペットボトルがいるかなどを話し合い、最終的には完成予想図を描きました。新型コロナ対策のため各組は別々の部屋で会議しましたが、真面目に話し合っている組があれば雑談のようにしている組やホワイトボードを使って授業風になっている組もあって、話し合いのスタイルが組ごとに違うことがわかりとても興味深かったです。本番ではどんないかだができるか今から楽しみです。(Shinohara)



ビーバー隊通信



ビーバー隊、さるかにかっせん。

7月19日(日) さるかに合戦(日応寺少年自然の家)

夏の活動の第一弾、日応寺少年自然の家で、2年に一度の沢登りハイクを行いました。施設担当の大森さんから危険な植物、動物の説明を聞き、沢の中での歩き方、かへのオスメスの判別の仕方などを教わり、登りコースへ移動。沢と平行した道を歩き、どんなところか確認しながらコース入り口まで歩きます。道中ですでにカニを発見!スカウトたちの気持ちも高鳴ります。

入水後、しばらく歩くと早速カニを見つけました。今回も岩の下に上手に隠れていた

ようです。中には、スカウトの目の前を横切るカニもいましたが意外と発見できないものです。

ゴールしたところでは、おのおの捕獲した「かに」や「やご」を、みんなで囲んで確認しました。前々日の雨などにもよりますが、取れ高は少々少なめの14匹。参加したスカウトとちょうど同じ数だけ取れました。沢登りの後は、施設のお風呂でシャワーを借り、汚れと汗を自分達で落としました。

今回は短縮の活動でありましたが森の中を歩き、水の中に入ることで五感を通じて自然を感じる活動ができました。8月の耕心村もより自然に近いところで活動を行います。熱中症とコロナにも気をつけながら元気に楽しく協力しながらがんばりましょう。(ozaki)

ボーイ隊通信



7月26日(日) 上進式・隊集会(撫川倉庫)

今回はボーイ隊に植田君が加わってから久しぶりにみんなが集まることができました。菊章進級者の面接と岡本隊長の功労賞授与式も執り行うことができ、少しずつではありますが活動も前進しています。

保護者会の時間を活用し、子供たちにはキャンプ道具の確認や設営をしてもらいました。テントの設営も班ごとに素早くできていると思いましたが、忘れていたことも多かったので勘を取り戻す良い機会にもなったかと思います。

また、普段あまり取り組めていなかった手旗信号も、班対抗のゲーム形式で楽しんでもらったなら何らかの形で普段から取り入れていきたいと考えています(kawakami)。



ビーバー隊通信

7月5日(日) つゆのどきどきやま(半山山植物園)

半山山植物園に、この時期の花を探して歩いてみようということでやってきました。植物園は、南に入口があり、北の山頂まで1つの尾根に様々な植物が植えられています。今は夏の花が咲き始めたばかり、入り口からぐるっと時計回りに登って下りるルートで歩きました。植物園なので、花の色を調べ、匂いを嗅ぎながらのハイクです。新型コロナ感染防止の3密対策として、開・閉会式も手をつなぐ、スカウトを3グループに分散させています。幸いにも雨は降らないものの蒸し暑く、蚊が遠慮なく襲ってきます。

アジサイ園(花の色は白・緑・紫・桃・水色)からアーティチョーク(紫色)を通り、頂上の一本松古墳で一休み。サクユリ(白色)とネムノキ(桃色、いい匂い)を見て配水池で全員合流。温室でウツボカズラ(花じゃない)を見たのちウゼンカズラ(オレンジ色)を観察したところで時間切れとなりました。

で、さすがはスカウトたちです。動かない花にはすぐ気づき、目は地面の団子、じゃなかったダンゴムシに釘付けに。いっぱい集めてきました。まさか花よりだんご(むし)、意外性のかたまり。さて次回の活動では何が飛び出しますやら。(ujihira)



花よりだんごむし。



団のうごき

7月5日(日) 台湾スカウトからマスクの寄附

新型コロナ感染対策が世界No.1の国=台湾のスカウトから、日本のスカウトに「マスク」が贈られてきました。ありがとうございます。

